

今年度の教育目標について

いよいよ令和4年度がスタートしました。そこで、今回は、今年度の経営方針の一部を紹介します。

玉名市では中学校区別に小中一貫教育を推進しています。そこで、有明中学校区では共通の学校目標を掲げ、各小中学校で児童生徒の発達段階や実態等を考慮しながら方針を立て、様々な教育活動を行っています。

子供たちには、次の内容から「身に付けてほしい3つの力」として「①考動力」「②協調性」「③やり抜く力」を始業式で説明をしました。



有明中学校区学校目標：
ふるさとを愛し、未来の創り手となる児童生徒の育成

(1)「ふるさとを愛し」の捉え方について

故郷を愛する心を育てるためには、地域の方々との交流を通して故郷のを知ることからスタートさせる。そのため、「生活科」や「総合的な学習の時間」並びに特別活動における地域学習を重視する。また、地域の方々との交流を通して、地域における人と人とのつながりを大切にできるようコミュニケーション能力の強化やあいさつ指導の徹底を図る。

(2)「未来の創り手となる児童生徒の育成」の捉え方について

未来の創り手を育成するために必要な資質や能力として、問題解決に必要な3つの力を掲げ、教育活動全体で育成を図る。(今年度は、3つの力の内容を見直し、掲げる順序も変更しています。)

①**考動力** … 場当たりに考えながら行動することではなく、基本的な行動計画に基づき、その状況変化に柔軟に対応して、その都度最善の計画と行動を取りながら目標を達成させる実践応用力。

子供たちには、「知識・技能を身に付け 自ら考え進んで行動する力」と説明しています。そして、問題解決のために、まず自分自身の力で解決しようとする姿勢が大切であり、そのための力をつけていこうと伝えています。

②**協調性** … いろんな価値観や考えをもつ人たちと折り合いをつけ、時に周囲を説得しながら、一つの目標に向かっていく力

子供たちには、「他者の気持ちや思いを大切にしながら 協力できる力」と説明しています。そして、自分自身の力で問題を解決できなかった場合、他の人の考えや思いを大切にしながら、みんなの力で解決していくこうと伝えています。

③**やり抜く力** … 困難なことに立ち向かう気持ちや失敗しても諦めずに続ける姿勢を身に付け、自分の目標を見据え、最後までやり遂げる力

子供たちには、「あきらめず、粘り強く、目標を達成しようとする力」と説明しています。そして、みんなの力で解決できるまで、励まし合い、がんばっていきましょうと伝えています。

